

2019. 5. 26 第9回定期総会 ご案内

◆日 時: 5月26日(日) 14時開始 13時半開場

◆会 場: たんぽぽ舎4階

東京都千代田区三崎町
2-6-2ダイナミックビル

◆参加費: 500円

会員でない方もお気軽に
ご参加ください。

《次第》

第1部 第9回総会議事

2018年活動・決算, 2019年方針・予算, 人事

第2部

講演 (14時半予定)

『福島第一原発と避難解除後の現状』

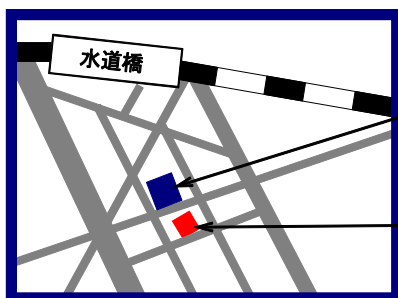
福島県川俣町会議員 菅野清一さん

現地報告

泊・若狭等原発立地自治体から

講師のご紹介

川俣町議会議員4期。無所属。
福島第一原発事故以降、国と東電を相手に町民の健康と暮らしを守るために、議会を一つにまとめ闘う。2017年4月1日から川俣町山木屋地区の避難指示区域が解除。町議会と国とは15回の協議を重ね、解除後も『復興・再生への国の責任、進行管理と検証に向けて、国・県・町の協議の場』の確認書を交わした。解除後は、難題が山積。山木屋地区では、帰還解除直後は1割、現在三分の一が帰還。元気な高齢者と低所得で外に家を持つことが出来ない人だけになり深刻。年ごとに変化する福島の現実を学び、福島の声に耳を傾けることは今後ますます重要になる。7月のシンポジウムに向け、現状を詳しくお聞きする。



日本大学

たんぽぽ舎

3月24日老朽原発うごかすな！高浜全国集会に350名が参加
5月19日午後1時関電本店包囲一御堂筋デモに参加しよう

3月24日、福井県高浜町で、「老朽原発うごかすな！高浜全国集会」が開かれた。高浜町文化会館大ホールに全国から350名が集まり、地元の若狭湾一帯からは、西は京都府北部の舞鶴、宮津から、東は福井県敦賀市から、南は滋賀県高島市など10市町から参加があった。

集会では全国、地元から計24人のアピールのほか、各地からのメッセージも読み上げられ、「原則40年」の約束を破って再稼働しようとする高浜1・2号機、美浜3号機はうごかすな！の決議文を採択、その後、高浜町内のデモをした。住民の皆さんの眼差しは温かった。なお、集会に先立ち、関電高浜原発ゲート前をデモし、抗議の申入れも行われた。

次は5月19日（日）午後1時から関電本社包囲行動一御堂筋デモ。「老朽原発うごかすな！」の声を思いっきり響かせよう！

関西ブロック 二木洋子



名古屋の老朽原発廃炉訴訟原告団が登壇。若狭からの風の流れる愛知に向かうことから提訴

高浜町内デモには、町民の温かいまなざしや激励に、参加者は勇気をいただく。

原発やめようニュース 反原発自治体議員・市民連盟

NO. 32 2019年5月

反原発自治体議員・市民連盟

共同代表 佐藤英行(北海道岩内町議会議員)
野口英一郎(鹿児島市議会議員)
福士敬子(元東京都議会議員)
武笠紀子(元千葉県松戸市議会議員)

〒168-0072
東京都杉並区高井戸東3-36-14-301
Tel/FAX 03-5936-0311
<http://nonukesjapan.org/>
郵便振替 00110-7-449067

原電が東海第二再稼働工事開始を発表

今年2月に二つの重大な発表がありました。

一つは、日本原電社長が、「東海第二原発を再稼働したい。そのための工事を始める」と茨城県知事や東海村長へ伝えたことです。

3月2日朝日新聞は「東海第二原発の工事費は3000億円、うち東電が1900億円支援」と報道。日経新聞は「この1900億円対応について、東電社内でも慎重論があり、電力5社や銀行団も一枚岩でない」と報道しています。

30年以内に関東で巨大地震・津波発生

二つは、「今後30年以内に80%の確率で巨大地震(津波)が関東周辺で発生する」との、地震会議の発表です。地震会議とは、1995年の阪神大震災の半年後にできた地震調査研究推進本部の略称、本部長は文部科学大臣です。

この会議の限界が露呈したのが2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原発事故でした。元委員で地震学者の島崎邦彦氏は、東電旧経営陣の刑事裁判で、「地震本部の長期評価に従い対策すれば1万8千人余の命が救われただけでなく、福島第一原発事故だって起きなかったと思う」と証言しました。この失敗を東海第二原発でくり返してはなりません。

東海第二原発は41年を超える老朽原発

東海第二原発は、40年を超え(当初原発の寿

命は30年とされていた)41年目。寿命は過ぎ、おまけに8年前の東日本大震災時に被災し損傷した原発です。設計図は50年以上前のもので、地震を想定していない米国GE社の原発設計図です。

地震災害と原発放射能が茨城・千葉・東京・神奈川をおそう「時期」が徐々に迫りつつあります。東海村の元村長、村上達也氏は、東海第二原発の地理・地勢上の危険を指摘しています。夏、東海村に吹く風の8割は千葉・東京・神奈川の方に吹くこと。茨城と東京の間には山がないため、平野を一直線に放射能が飛んでくる。茨城から東京駅までわずか116km。短時間で東京圏が放射能(死の灰)にまみれ、人が住めないまちになります。

地震は防げないが原発災害は防げる

日本は世界的にみても風光明媚な国です。それは日本列島の地震の結果でもあります。地震が暴れば、多くの人命が失われます。

(2頁につづく)



重大事故対処設備(5年以内)の計画もできていない
東海第二原発

(1頁から) 自然現象ゆえ、地震は防ぐことはできず、残念ながら予知も現在の科学ではできません。地震に備えて「減災」をはかることが必要です。一方、原発災害は防ぐことができます。原発を廃止すればいいのです。原発被害を格段に小さくできます。電気は足りており、東海第二原発の再稼働準備の工事をやめて、すぐ廃炉に向かうことです。

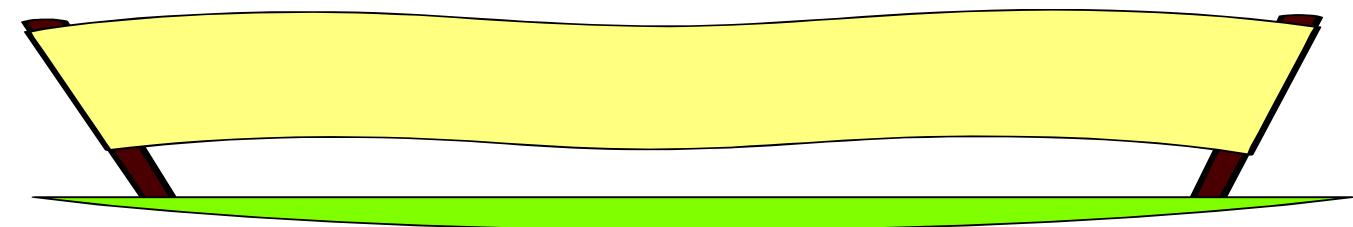
東西で老朽原発の再稼働を止めよう

原発はもともと危険な存在ですが、老朽原発は、これまでも何度も経験したように事故を起こすからさらに危険です。西日本の関西電力も高浜、美浜等の老朽原発を動かし、東の日本原電も老朽東海第二原発を動かそうとしています。

3月10日の原電本店抗議行動で「当面の行動

事務局長 柳田真

方針」が提起されました。①日本原電への意見書・抗議文提出行動、②日本原電本店周辺での大衆宣伝、③第2弾の署名運動、④東電・原電に対するハガキ抗議運動、⑤自治体への請願・意見書行動と交流会、⑥地震の学習会、⑦茨城でアメーバ行動(30キロ圏自治体へ、グループで各戸訪問・ビラ配布をおこなう。原発反対の声が出せなかった若狭(福井県)で、アメーバ行動を4年間続けて住民からの激励や感謝の声が多数寄せられるようになった) 原電は、原子力発電企業の中では一番小さい会社で、資金力も全くない「弱い環」。東京圏は多くの人と団体があり、原発反対の「強い環」になれます。子どもや孫のためにも、東・西ともに力を合わせて、老朽原発の再稼働を阻止しましょう。



被ばく労働の代替要員 使い捨てが目的か

東京電力ホールディングスは、4月18日、福島第1原子力発電所など原発での作業に、4月から実施された新たな在留資格「特定技能」による外国人労働者を受け入れることを明らかにしました。

何とも恐ろしい話です。

今後、廃炉作業に向けた労働者の確保が困難になると見込み、その代替要員に外国人労働者を使おうというのです。

使い捨ての労働力として活用しようという狙いが透けて見える動きです。

すでに技能実習生が働かされていた
昨年5月、放射線教育も行わず福島第一原



福島第一原発で働く作業員

発でベトナム国籍などの実習生6人が働かされていたことが明らかにされました。

原発事故は収束どころか未だに汚染水対策や燃料デブリの問題をはじめまったく目処が立っていない状態です。

労働者の健康・人権を守れ

原発再稼働を進める電力会社と安倍政権に対して、この問題でも闘うことが問われている



2019年7月13日(土)・7月14日(日) 第7回 福島を忘れない!全国シンポジウム・現地見学(予定)

【5月26日から受付けをはじめます。詳細は5月中に決定】
【新宿から往復バス1台、14日は福島往復バス1台を予定】



記念講演

講師

こいで ひろあき

小出裕章氏

★現地報告

「復興」の名のもとで、原発事故で被災した自治体では何が起きているのか、菅野清一川俣町議会議員をはじめ、現地の自治体議員・市民の皆さんから詳しく語っていただきます。

◎ 7月13日 全国シンポジウム
会場：ホテル福島グリーンパレス
時間：13時30分～16時30分
シンポジウム終了後に交流会。

◎ 7月14日 現地見学
午前7時30分 ホテル出発

行程(変更の可能性もあります)
福島市 …… 飯舘村 …… 浪江町
(請戸地区) …… 双葉町・大熊町 ……
富岡町(昼食) …… 四倉道の駅(いわき市)
・四倉道の駅 …… 福島(現地バス)

※ご留意事項

- ・東京往復バス：スバルビル前7時集合。
- ・現地見学は、四ツ倉道の駅に16時到着を予定しています。そこで福島市、東京行きに分かれ、岐路につきます。交通事情で変更する可能性があります。

反原発自治体議員・市民連盟

関西ブロック第3回総会・記念講演のお知らせ

日時:6月23日(日)14:00～16:30

場所:高槻市立総合市民交流センター(クロスパル高槻)7階第6会議室

<第1部>総会

14:00 活動報告・活動方針・質問やご意見

<第2部> 記念講演会

14:30 「老朽原発を止めるために、その諸問題を考える」

講師:長沢 啓行さん(大阪府立大学名誉教授、若狭ネット資料情報室長)

15:30 質疑応答

原発現地からの報告

- ・若狭現地の取組み 木原壮林さん(若狭の原発を考える会)
- ・隣接自治体から 是永 宙さん(滋賀県高島市議会議員)他
- ・島根原発現地・上関原発現地からのメッセージ